



Yonago East Weekly

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/野坂美仁 ●幹事/伊藤慎哉 ●会報/林 俊一

会員数 102名 (正会員 101名 名誉会員 1名)
ビジター

今週のお祝い

夫人誕生祝: 20日 井上賢明君 22日 平田国久君
24日 池淵建夫君 25日 野坂美仁君

幹事報告

1. 米子松蔭高等学校IAC 高嶋先生と部員5名
2. オブザーバー 鳥大医学部4年 梶田君、近藤さん



<プログラム>

「インターアクトクラブ活動報告」

米子松蔭高等学校 顧問 高嶋博子 先生
部員の皆様

「米子東RCの皆さん、米子松蔭高校インターアクト
バザーにご協力お願い致します。」



3. 11/21 アンサンブル&ミニコンサート チラシ配布
4. 11/23 千恵Lee Sadayama & リュ・ジョンピル コンサートのご案内 (招待券2枚)
5. 2014-15年度 RI奨励表彰 「会員増強賞」
6. 11/8 阿南南RC創立40周年記念式典 会長へ来賓祝辞のお願い
7. 10/18 大山秋の一斉清掃
会員13名、ご家族2名、IAC先生2名、生徒9名
8. 10/18 秋の中海一斉清掃
会員10名、ご家族2名
9. 中海再生プロジェクトNEWS10月号
11/3 ラムサールシンポジウム
(米子コンベンションセンター)
10. 例会変更のお知らせ
米子中央RC 10/29(木)夜間例会 ビジター受付あり



次回プログラム

- 10/28 職場訪問 丸京製菓株式会社
- 11/4 「命をつなぐ医療とは? ~移植医療の視点~
鳥取県臓器移植コーディネーター 永栄 幸子 氏
- 11/11 仮「ネパールからの活動報告」 山根正子 氏
- 11/18 「ロータリーの友」紹介 雑誌委員会
「私の職業」



Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

ゆうゆう壺番館の報告（濱田君）

月に一度、ゆうゆう壺番館さんに訪問し、お年寄りの方と交流をします。交流会では、約1時間、部員たちで考えたゲームをします。実際に今年の7月に行ったプログラムを紹介します。まず一つ目に風船バレーをしました。利用者さんは座りながら、風船を上げていただき、私たちは机や床に落ちないようにサポートします。落ちずにみんなで何回もパスできるときはとても盛り上がります。二つ目は、まちがい探しをしました。まちがいを見つけ、丸をしてもらいます。私たちよりも早く見つける方もおられます。三つ目は、七夕の飾り付けをしました。利用者さんに願い事を書いてもらい、竹に飾ったものがこちらです。自分のための願いではなく、みんなのための願いを書いておられる方がいて、感動しました。竹は、学校の近所にある家の方に、みんなでもらいに行きました。最後に、歌を歌いました。7月ということで「たなばたさま」「茶摘み」「海」を部員の弾きキーボードに合わせてみんなで歌いました。

ゆうゆう壺番館さんでの活動で、コミュニケーションの大切さを学びました。また、利用者さんが笑顔になってくれるのが嬉しいので、これからも利用者さんに楽しんでもらえるものを作ろうと思います。

大山一斉清掃の報告（大塚君）

春と秋の2回、大山一斉清掃に参加しました。私たちはロータリークラブの方に送迎していただき、一緒に観光道路沿いを清掃します。毎年、送迎をしてくださってありがとうございます。ゴミは、テレビなどの大きなものからタバコの吸い殻のような小さなものまであり、特に空き缶やタバコの吸い殻が多いです。他にも、外来種であるセイタカアワダチソウを抜いて駆除しています。

大山一斉清掃を通して、タバコの吸い殻や空き缶を拾ったり、セイタカアワダチソウの駆除をし、一人一人の力は小さくてもたくさんの人が協力することで大山の環境を守れることを実感しました。

指導者講習会の報告（杉谷さん）

昨年11月に鳥取市で開かれた指導者講習会に参加しました。研修Ⅰは、鳥取市役所の西垣さんの「あいサポート研修」でした。障がいの種類と特徴、手話、障がいをもっている人の必要とするサポートについて学びました。手話は、例えば「こんにちは」の手話で使われるこのポーズは、顔を時計の文字盤にたとえて、右手の人差し指と中指で正午を指す時計の針を表す、というふうに詳しい成り立ちを聞きながら覚えめました。手話は難しいイメージがあったのですが、意外と覚えやすくおもしろかったです。西垣さんご自身も喉が弱く発声が困難な日もあるそうで、その日は声が震えておられました。研修のためにつらいのをおして話してくださいました。研修Ⅱは、弁護士の先生方による裁判員裁判についての研修でした。代表の生徒で役をふりわけて模擬裁判をした後、いくつかの班に分かれ有罪か無罪かを話し合いました。その後各班の代表が一人ずつ、話し合いで出た結果とその結果に至った理由を発表しました。被告人の性格など深いところもふまえて考えるので簡単には決まりませんでした。弁護士は、裁判の他にも、トラブルに陥っている人を救済するために相談ののったりもすると聞き、弁護士の仕事の大変さとかっこよさを知りました。指導者講習会では、その年によって違った研修を受けることができ、他校のインターアクト部さんとも交流で

きるので毎年楽しみです。

今年は私たちがホスト校になるので、参加される方々に楽しんでいただけるように尽力します。

インターアクトバザーの報告（亀尾君）

毎年、文化祭でロータリーさんや保護者の方から提供していただいた商品をバザーの中で売っています。売り上げは部活の活動資金として使わせていただきます。ありがとうございます。バザーでは主に、先生や保護者の方にはコーヒーのパックが人気があり、生徒にはメガネふきが大変人気があります。閉店間際には値下げをして職員室に売りに行き、先生方にたくさん買っていただきました。昨年のバザーの売り上げの総額は、12,445円集まり、その売り上げを使って新しくユニフォームを作る予定です。また、バザーと並行して、バザー会場に、エボラで苦しんでいる人々を助けるために募金箱を設置しました。そこで寄付されたお金は、UNICEFに全額募金しました。最初は思ったように売れませんでした。全部売り切ったときは達成感があり、とても嬉しかったです。今年も11月6日に文化祭がありますので、ロータリーさんからの商品の提供、よろしく願います。

インターアクトバザーの活動を通して、事前の準備や商品の値札付けなど楽しくやっています。いつもは購入する立場ですが、初めて自分たちで商品売ってみて販売する立場を学び、とても貴重な体験をさせていただくことができました。

日韓青少年交流の報告（正信君）

去年の10月に、日韓青少年交流会に参加するため、3日間韓国へ行きました。1日目は江原道へ移動し、ピースウォーキングに参加しました。寒かったです。みんな楽しくウォーキングすることができました。そして参加者全員で、日本と韓国の交流関係、また世界を平和でつつむという形で平和の鐘を鳴らしました。たくさんの生徒がその音色につつまれて、心に残る体験ができました。夕食では、江原道名物料理のタッカルビを食べました。とても辛かったです。旨味もあり、しめのうどんやご飯もおいしくいただきました。2日目は、最初に障害者施設に行き、野球に似た韓国独特の遊びをして楽しく交流をしました。その後、テンプルライフに行き、念珠作りをしました。透明白い玉に玉をつめるのが想像以上に難しく、玉をぼろぼろと落としながらも、それぞれに思いを込めて作りました。夜からは、韓国の生徒の家におじゃまして、ホームステイをしました。各家庭の方々が温かく迎えてくださり、生徒一人一人が韓国の文化、また生活を体験したり、学ぶことができました。そしてお別れの3日目には、各家庭の方々が集合場所まで送ってくださり、そこで感謝の思いを韓国語で伝えました。最後には全員で記念写真を撮り、別れを惜しみながらバスに乗り込み、窓越しで手を振りました。

私はこの活動を通して、ホームステイ先の家族の方が江原道の観光名所に連れて行ってくださったり、韓国名物のおいしい料理を作ってくださいたりなど、韓国独特の文化を学ぶことができ、とてもためになる体験ができました。